

# シンポジウム受付終了のお知らせ

2013年2月2日開催のJAZAシンポジウム「いのちの博物館の実現に向けて——消えていいのか、日本の動物園・水族館」は、申込が定員（300名）に達したため、受付を終了いたしました。多数のご応募、誠にありがとうございました。

2013年1月8日

JAZAシンポジウム事務局

主催／公益社団法人日本動物園水族館協会 (JAZA)  
共催／公益財団法人東京動物園協会、東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻  
後援／環境省関東地方環境事務所、財団法人日本博物館協会、社団法人日本植物園協会、文化資源学会

動物園や水族館の最大の魅力は、生きた本物の動物に向き合い、体感できることです。しかし近年、動物園・水族館をとりまく環境は厳しく、新たな未来像が求められています。このシンポジウムでは、動物園・水族館を「いのちの博物館」ととらえ、その果たすべき役割、課題などについて考えます。

日時 2013年 2月 2日(土) 13:30~16:30

会場 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

〈対象：中学生以上 300名〉

(東京メトロ南北線「東大前」駅下車 徒歩約1分・千代田線「根津」駅 徒歩約8分)

\* 事前申込制。くわしくは裏面をごらんください。

公益社団法人 日本動物園水族館協会 (JAZA) シンポジウム

# いのちの博物館の実現に向けて

消えていいのが、日本の動物園・水族館

## ◆ 基調講演

「動物園の現状と飼育動物繁殖の問題点」

日橋一昭 (JAZA 生物多様性委員長・埼玉県こども動物自然公園園長)

「水族館の現状と問題点」

西源二郎 (東京都葛西臨海水族園園長)

## ◆ パネルディスカッション

コーディネーター・木下直之 (JAZA 広報戦略会議委員・東京大学教授)

パネリスト・大橋民恵 (JAZA 広報戦略会議委員・NPO 法人市民 ZOO ネットワーク 代表理事)

西源二郎 (東京都葛西臨海水族園園長)

林良博 (JAZA 顧問・東京農業大学教授)

山本茂行 (JAZA 会長・富山市ファミリーパーク園長)

日橋一昭 (JAZA 生物多様性委員長・埼玉県こども動物自然公園園長)



# いのちの博物館の実現に向けて

..... 消えていいのか、日本の動物園・水族館.....

日本の動物園と水族館は、地域・日本・地球の宝である生き物の命を守りつなげることに貢献してきました。そこは、生き物の姿、生きる力、命の大切さを伝える、いわば「いのちの博物館」だからです。

単に生き物の世界を知るだけでなく、人間もまた同じ生き物であることを自覚する場です。さらに絶滅が危惧される希少動物の保全や環境教育の拠点でもあります。したがって、動物園と水族館は、決して子どものための施設ではありません。これからの地球を守り、持続可能な社会の実現を目指すすべてのひとびとにとって、ますます大切な存在となりつつあります。

動物園と水族館の多くは、戦後間もない時期に、地方自治体によって設立されました。戦後復興とともに成長し、日本社会の中に根をおろしてきました。しかし、近年、動物園と水族館をとりまく環境は厳しく、これまでの経営方式や管理体制に見直しが求められています。財政難に直面する一方で、野生生物保全という自治体の規模をはるかに越えたグローバルな役割を担いつつあるからです。こうした活動を担う人材の育成も急務の課題となっています。

動物園と水族館の最大の魅力は、映像ではなく生きた本物の動物に向き合い、それを五感で体験できることです。しかし、その根幹ともいえる動物の収集・飼育・展示・繁殖が揺らいでいます。かつて動物園の花形スターはゾウでした。今では、ゾウが死んだら補充はもはやほとんど不可能です。やがて、日本の動物園からゾウがいなくなるかもしれません。このままでは、明らかに行き詰まります。「消えていいのか、日本の動物園と水族館」と問いかける理由です。

動物園と水族館の新たな未来像が求められています。このたびのシンポジウムでは、動物園と水族館を「いのちの博物館」ととらえ、その実現に向けて、越えるべき課題、果たすべき役割について考えます。

2013年2月2日(土) 13:30~16:30 <東京大学農学部 弥生講堂一条ホール>

進行/木下直之 (JAZA 広報戦略会議委員・東京大学教授)

13:30 開会・問題提起

「消えていいのか、日本の動物園・水族館」  
山本茂行 (JAZA 会長・富山市ファミリーパーク園長)

13:50 基調講演①

「動物園の現状と飼育動物繁殖の問題点」  
日橋一昭 (JAZA 生物多様性委員長・  
埼玉県こども動物自然公園園長)

14:20 基調講演②

「水族館の現状と課題」  
西源二郎 (東京都葛西臨海水族園園長)

14:50 休憩

15:00 パネルディスカッション

「いのちの博物館の実現に向けて」  
コーディネーター・木下直之 (JAZA 広報戦略会議委員・東京大学教授)  
パネリスト・大橋民恵 (JAZA 広報戦略会議委員・  
NPO 法人市民 ZOO ネットワーク代表理事)  
西源二郎 (東京都葛西臨海水族園園長)  
林良博 (JAZA 顧問・東京農業大学教授)  
山本茂行 (JAZA 会長・富山市ファミリーパーク園長)  
日橋一昭 (JAZA 生物多様性委員長・  
埼玉県こども動物自然公園園長)

15:30 討論① フロアからの質疑応答

15:50 討論② パネリストによる討論

16:30 閉会

●申込 インターネット、往復ハガキ、ファックスで2013年1月2日から先着順に受け付けます。次の要領でお申し込みください (応募は1通につき3名まで)。確認後、事務局から参加証を返信します。6日経っても返信がない場合は、下記事務局あてにお問い合わせください。

インターネット: PC やスマートフォン等の場合、**応募専用フォーム** <https://www.tokyo-zoo.net/event/jaza-sympo.html>

にアクセスし、必要事項を記入してお申し込みください。携帯電話は右のQRコードからアクセスしてください (ただし、機種によってはアクセスできない場合があります)。参加証は添付ファイルとして返信します。@tokyo-zoo.net からのメールを受信できるように設定しておいてください。



往復ハガキ: 往信函通信欄に参加希望者全員の氏名・年齢、代表者の住所・電話番号を記入して、下記のあて先にお送りください。

(あて先) 〒110-0007 台東区上野公園 9-83

東京動物園協会「2/2 JAZA シンポジウム」係

\* 往復ハガキ返信面のあて先にも代表者の住所・氏名を記入してご応募ください。

ファックス: 「2/2 JAZA シンポジウム」と明記し、参加希望者全員の氏名・年齢、代表者のファックス番号を記入して、**FAX 03-3828-8237** までお送りください。折り返し参加証をファックスで返信します。

●お問い合わせは「JAZA シンポジウム事務局」

TEL 03-3828-8235 (東京動物園協会内)